

| 会 議 記 録   |   |               |                                    |
|-----------|---|---------------|------------------------------------|
| 会 議 の 名 称 | 産 業 建 設 常 任 委 員 会   |               | 会 議 場 所 第 2 委 員 会 室<br>担 当 職 員 佐 藤 |
| 日 時       | 令 和 2 年 3 月 5 日 ( 木 曜 日 )   |               | 開 議 午 前 1 0 時 0 0 分                |
|           |   |               | 閉 議 午 後 1 時 5 8 分                  |
| 出 席 委 員   | ◎ 菱 田、○ 赤 坂、田 中、小 川、奥 野、藤 本、竹 田   |               |                                    |
| 出 席 理 事 者 | <b>【産業観光部】</b> 吉村部長<br>[商工観光課]三宅課長 [農林振興課]笹原課長 [農地整備課]並河課長<br>[農業委員会事務局]吉田事務局長<br><b>【まちづくり推進部】</b> 並河部長、関事業担当部長<br>[都市計画課]関口課長 [都市整備課]山内課長、信部区画整理担当課長<br>[まちづくり交通課]伊豆田課長 [桂川・道路整備課]澤田課長、石田整備担当課長<br>[土木管理課]藤本課長、鈴木管理担当課長 [建築住宅課]内藤課長<br><b>【上下水道部】</b> 阿久根部長<br>[総務・経営課]西田課長、人見水道経営係長、服部下水道経営係長<br>[お客様サービス課]柴田課長 [水道課]清水課長<br>[下水道課]川勝課長、西田年谷浄化センター所長 |               |                                    |
| 出 席 事 務 局 | 佐 藤 主 任   |               |                                    |
| 傍 聴 者     | 市 民 0 名   | 報 道 関 係 者 0 名 | 議 員 0 名                            |

## 会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

### 1 開議

(菱田委員長あいさつ)

### 2 審査日程説明

(事務局説明)

### 3 所管分付託議案審査(説明～質疑) ※付託表その1、その2

[上下水道部入室]

・上下水道部長あいさつ

#### ・第65号議案 令和元年度亀岡市水道事業会計補正予算(第3号)

[説明]

・各所管課長より順次説明(歳出・歳入一括)

1 0 : 1 1

[質疑]

<田中委員>

P18、施設改良費の中で、委託料が3,300万円ほど減額になっているが、入札減なのか、当初の見込み甘かったのか。また、固定資産購入費の減額の内容は。

<水道課長>

委託料の減額については、入札残によるところが主である。そのうち、国営事業再編事業に伴う、布設替え工事を本梅工区、余部・安町工区の2工区については、今年度はまだ行わないことになり、全額委託をしなかったので大きな減額となった。

<田中委員>

今説明を聞いてわかったが、予算の説明時にその内容の説明をしてもらったら、質問をしないですむので、詳細な説明をするよう要望しておく。

<総務・経営課長>

固定資産購入費の減額については、職員が使用しているパソコンのWindows10への切り替えについて、当初は上下水道部での一括購入費を予算計上していたが、市長部局の電算室と協議を行い、電算室で一括入札し、リースに切り替えたことにより、大幅に経費を削減できた。

<田中委員>

リース料は。

<総務・経営課長>

当初は2,600万円ほど見込んでいて、メーカーにセットアップ作業まで計画していたが、電算室の職員がセットアップ作業を行うため、約900万円抑えることができた。

<菱田委員長>

パソコンは何台分なのか。

<総務・経営課長>

上下水道部で82台である。

10:17

## ・第66号議案 令和元年度亀岡市下水道事業会計補正予算（第3号）

[説明]

・各所管課長より順次説明（歳出・歳入一括）

10:28

[質疑]

<小川委員>

P9、債務負担行為で設備変更の内容は。

<年谷浄化センター所長>

送風機メーカーの変更である。

<小川委員>

メーカーの変更だけで、5,000万円も価格差が生じるのか。

<菱田委員長>

台数や能力の違いは。

<年谷浄化センター所長>

1台の設置を予定している。能力については、今データを持ち合わせていない。

<上下水道部長>

下水道事業団に設計委託をするが、機種として想定していたメーカーで当初設計を挙げていたが、実際入札をかけて発注したら、そのメーカーは送風機の納入を撤退していた。新しい機種を選ぼうと見積りをとったところ、5,000万円ほど価格が上がった。

<菱田委員長>

もともとの予定価格は。

<上下水道部長>

送風機設備工事としては、1億940万円を予定していた。今回機種が変わったため、1億6,350万円を予定している。

<赤坂副委員長>

新しい機種になれば、つなぎ目等が変わり部品がふえたりするため、金額が上がることもあるのか。

<上下水道部長>

そのとおりである。

<赤坂副委員長>

5,000万円上がった詳細をはっきりさせてもらいたい。

<菱田委員長>

先ほどの副委員長の要望について、午後からに再度説明願いたい、部長どうか。

<上下水道部長>

午後から説明させてもらう。

<菱田委員長>

午前中に予定していた討論～採決を、午後からの上下水道部の説明後にすることとしてよいか。(了)

10:42

[上下水道部退室]

[まちづくり推進部入室]

・まちづくり推進部長あいさつ

・第61号議案 令和元年度亀岡市一般会計補正予算（第5号）所管分

[説明]

・各所管課長より順次説明（歳出・歳入一括）

10:59

[質疑]

<田中委員>

P59、公園緑地整備事業費減の詳細は。

<都市整備課長>

亀岡運動公園体育館の空調設備等の工事に係る入札減である。

<田中委員>

入札残にしては、高額であるが総額でいくらか。

<都市整備課長>

建築・電気・機械の3つの設計額を合わせて、6億700万円で、それに対して、請負額が5億4,000万円となり、平均して89%の請け負いになる。

<奥野委員>

能力が落ちたということはないのか。

<都市整備課長>

設計どおり既定の工事をしてもらっている。

<小川委員>

P 7 3、過年公共土木施設災害復旧事業費は、令和元年度で終わらないのか。

<土木管理課長>

平成30年度で業者が決まり、令和元年度末までにできたらよかったが、3回入札をして、3回とも不調となった。今から入札をしても、工期が足りないので、令和2年度に完了する予定である。

<小川委員>

繰り越しで出すのか。

<土木管理課長>

そのとおりである。

<赤坂副委員長>

関連して、安いため、3回も入札が不調に終わったにもかかわらず、また同じ金額で入札するのか。

<土木管理課長>

災害の関係で、資材や人材が足りないという理由で不調になっていたの、今後また状況も変わるので同じ金額で入札する。また、国から認められている内容は変えられないため、同じ金額で入札することになる。

<菱田委員長>

来週月曜日に採決し、火曜日以降に入札して、業者が決定しないと、自治法220条の事故繰り越しに当たらないということだが、大丈夫なのか。

<土木管理課長>

来週早々に入札依頼を行う。災害の協定を結んでいる建設業者と、緊急のため随意契約を締結しようと考えているため問題ない。

10:07

・第61号議案 令和元年度亀岡市一般会計補正予算（第5号）所管分

[説明]

・各所管課長より順次説明（繰越明許費・債務負担行為一括）

10:16

[質疑]

<藤本委員>

P 7、橋梁整備事業、京都縦貫自動車道の歩道橋に係る点検とはどこか。

<土木管理課長>

平和台と大葉台、桜台の3橋である。

10:17

・第57号議案 JR亀岡駅前及びJR亀岡駅北口自転車等駐車場に係る  
指定管理者の指定について

[説明]

・土木管理課長説明

[質疑なし]

[まちづくり推進部退室]

11:20

<休憩 11:20～11:26>

[産業観光部入室]

・産業観光部長あいさつ

・第61号議案 令和元年度亀岡市一般会計補正予算（第5号）所管分

[説明]

・各所管課長より順次説明（歳出・歳入一括）

11:50

[質疑]

<小川委員>

P47、農業委員会費減の詳細は。

<農業委員会事務局長>

委員の事情により、会議や研修会等の欠席による精算見込みによる減である。

<藤本委員>

P51、林道管理事業経費減について、京都縦貫自動車道の2橋の管理がNEXCO西日本になり、業務多忙で補修ができないので減になったのか。

<農林振興課長>

歩道橋については、5年に1回の点検業務が義務づけられている。対象の6橋のうち、2橋については点検業務を実施いただいた。他の地域も含めて点検業務を順次されるので、残り4橋については先送りになった。

<田中委員>

残り4橋は点検をしなくていいのか。

<農林振興課長>

関係機関と調整しながら点検を実施していきたいと考えるが、今年度はできていない。

<菱田委員長>

一昨年ぐらいから、NEXCO西日本が橋梁点検を実施しているが、これが終わらなければ、市道の部分を点検してもらえないのか。

<農林振興課長>

順次計画的に実施されている。

<藤本委員>

点検業務をしなくても、安全は確保されているのか。

<農林振興課長>

5年前の点検以降、状況は変わっていないが、地震等の災害がいつ起こるかわからないので、耐震性を確保していきたいというのが、NEXCO西日本の思いである。

<奥野委員>

P47、農業担い手づくり育成事業経費減、地域営農担い手条件整備事業費減は担い手の育成等ができていないことになるのではないのか。

<農林振興課長>

当初に計画している中身を達成していきたいという思いはあるが、新規就農者や地

元の営農組織の私的な事情等により、減額になった。

<奥野委員>

しっかり啓発をしていってほしい。

<赤坂副委員長>

前向きにしっかりやっていってほしい。

11 : 59

・第61号議案 令和元年度亀岡市一般会計補正予算（第5号）所管分

[説明]

・各所管課長より順次説明（繰越明許費一括）

[質疑なし]

12 : 04

[産業観光部退室]

<休憩 12 : 04 ~ 13 : 12 >

[上下水道部入室]

<菱田委員長>

委員間討議に入る前に、午前中の上下水道部の説明に対して、補足説明を求める。

<年谷浄化センター所長>

今回更新する送風機は、微生物を活性して、下水を浄化し、水をきれいにするとところに空気を送るものである。能力として、1分当たり68立方メートル、電動機の出力は102キロワットである。台数は1台である。

当初下水事業団において、入札を執行し、2回不調が発生した。1回目が9月30日、2回目が12月17日である。その後、下水道事業団において、不調の原因と市場価格を再度調査した結果、既存のメーカーがすでに撤退していて、市場価格と乖離が発生している事態が判明した。その結果、5,410万円の補正を上げるに至った。機械の設計等については、同じ機械を据えるのであれば周辺の機器についてあまり変更がないため、機器費が増額することはないが、今回はメーカーが変わるので、電動機の出力等が変わり経費が増額した。

<赤坂副委員長>

前の機械からグレードが上がったということか。

<上下水道部長>

前の機械よりは、性能はよくなっていると思うが、同じ性能の機械を設計して価格が上がった。なぜ価格が上がったのかというと、更新になるので同じスペースにはめなければならない。器に合わせた機械設備を入れようとする、さまざまな加工が必要になり価格が上がった。

<小川委員>

送風機は1機のみか。今後もこのようなことが起こりうるのか。

<年谷浄化センター所長>

今回更新するのは、3機あるうちの1機である。そのほかの2機についても劣化が進んでいるため、計画的に更新していく予定である。入札事業については、日本下

水道事業団に委託している。最新の価格調査をしてもらっていて、今後二度とこのような補正がないようにしていく。

<小川委員>

送風機本体の価格がどれくらい変わったのか。また、補正予算の内訳の概要は。

<上下水道部長>

送風機本体は当初約5,400万円で、今回約8,800万円になった。電動機等も900万円から2,000万円、吐出弁は120万円から140万円。新たに放風弁に200万円。トータル機器費として約6,400万円が、約1億1,200万円になった。

13:21

[委員間討議なし]

#### 4 討論～採決

[討論なし]

[採決]

- ・第57号議案 JR亀岡駅前及びJR亀岡駅北口自転車等駐車場に係る指定管理者の指定について

可決・全員

- ・第61号議案 令和元年度亀岡市一般会計補正予算（第5号）所管分

可決・全員

- ・第65号議案 令和元年度亀岡市水道事業会計補正予算（第3号）

可決・全員

- ・第66号議案 令和元年度亀岡市下水道事業会計補正予算（第3号）

可決・全員

[指摘要望事項なし]

13:26

<休憩 13:26～13:30>

#### 5 行政報告

[まちづくり推進部入室]

[まちづくり推進部長あいさつ]

- (1) 亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想について  
(まちづくり推進部行政報告)

[都市計画課長 資料に基づき順次説明]

13 : 47

[まちづくり推進部退室]

<菱田委員長>

副委員長から、この件について意見がある。

<赤坂副委員長>

この件について、事前に委員長と話を聞いた。亀岡の玄関口をまず直すことが先決であると思うので、そのことを頭に置いて、次の行政報告で質疑いただきたい。

## 6 審議会委員等の選出について

(亀岡防災会議委員)

<菱田委員長>

事務局から説明を

<事務局主任>

先日の2月特別議会での常任委員長の交代により、在任期間について、委員長を防災会議委員とすることを決定いただいたが、5月末をもって任期が満了となることから、再度検討願う。先日の議会運営委員会において、申合せのとおり、委員長のあて職として確認されているので、それを踏まえて決定をいただきたい。なお、任期は令和2年6月1日から2年間である。

<菱田委員長>

申し合わせのとおり、委員長を選出することとしてよいか。(了)

## 7 その他

### (1) 行政視察について

<菱田委員長>

事務局から説明を。

<事務局主任>

例年、5月に行政視察を行っていただいているが、3月3日の議会運営委員会において、今回は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、視察時期については、延期と決定されたが、視察の項目と候補地について検討を進めていただきたい。別紙に行政視察の過去の実績を資料として付けているので、参考にしていただければと思う。

<菱田委員長>

視察の項目と候補地について意見はあるか。

<赤坂副委員長>

お年寄りの居場所づくりとしての、市町村や第3セクターが経営している健康ランド的な遊施設や温泉施設を視察したい。

<菱田委員長>

環境厚生在所管になるのでは。

<赤坂副委員長>



産業観光としてのレジャー施設でもある。

<田中委員>

実施時期はしばらく先になるため、もう少し、それぞれで検討してはどうか。

<菱田委員長>

そのように取り扱うこととするので、それぞれ検討を願う。(了)

## **(2) わがまちトーク（自治会版）の意見対応について**

<菱田委員長>

わがまちトークの意見対応について協議する。

[別紙資料に基づき、項目ごとの対応を以下のとおり分類]

・千代川町：1～3参考

<小川委員>

今回わがまちトークでは、活気のあるまちづくりをテーマに話し合った。今後視察先を考えるにあたって参考にしてほしい。

～散会 13:58